

学校教育課の目標（令和8年度）

学校教育課長 倉部 哲也

1 課の役割

学校教育課は、児童生徒の生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）の育成を目指して、地域とともに歩む町立小・中学校の学校運営の充実を支援する役割を担っています。

2 個別事業とその目標

1 学校運営への支援

- (1) 創意ある教育課程を推進し、学力及び体力の向上を図ります。
- (2) 学習指導等専門支援員、介助員等の配置により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。
- (3) 不登校等の児童生徒を支援する学習指導等支援員、外国語指導助手のサポートや外国籍児童生徒への日本語指導を行う教育アドバイザー等を配置し、学校運営を支援します。

2 特色ある教育活動の推進

- (1) 人権・同和教育の推進に努めます。
- (2) 教育ファシリテーターを活用し、ふるさと学習（酒々井学）を推進し、地域に誇りと愛着を持つ児童生徒を育成するとともに、主権者意識を育む中で、町や地域等に貢献できる児童生徒を育成します。
- (3) ALTの積極的な活用により、英語力を高め国際社会で活躍できる児童生徒を育成します。
- (4) 酒々井中学校生徒を対象とした国際交流事業を実施し、派遣先での体験学習や受け入れ事業での酒々井中学校における活動を通して、コミュニケーション能力を高め国際社会に対応できる人材を育成します。
- (5) 保育園・こども園と小学校のふれあい交流会、小学校と中学校間の基本的な学校生活の習慣に関する指導及び生徒指導の継続的な取組により、保小中が連携して一貫性のある指導を実践します。

3 教職員の資質や指導力の向上

- (1) 不祥事根絶に向けて研修を進め、教職員に高い倫理観を維持させます。
- (2) 学校の求めに応じて教育アドバイザーを各校に派遣し、特に若年層教員の指導力向上のためへの助言・指導を行います。
- (3) 「教職員の特色ある教育研究支援事業」をとおして、教職員の自主的な教育研究を支援します。

4 教育条件の整備

- (1) 墨、馬橋、伊籾地区でスクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。
- (2) 部活動の地域展開を実施し、課題を整理します。

5 チャレンジ目標

- (1) 千葉県の人事評価制度の適切で効果的な運用がなされるよう各校に指導し、評価の信頼性を高めるとともに、評価が人材育成につながるよう、意識化を図ります。
- (2) 中学生の英語検定を積極的に支援し、主体的な学習による英語力の向上に努めます。
- (3) 学校の行う不登校対策への支援を実施します。
- (4) 教員の働き方改革を推進し、児童生徒と向き合うことのできる時間の確保を図ります。